

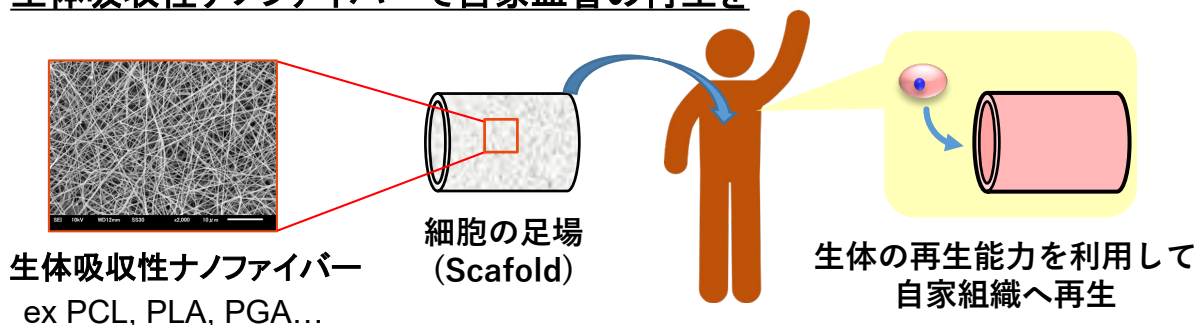
# 冠動脈バイパス術のグラフト材としての生体吸収性ナノファイバーグラフトの研究

## <研究概要>

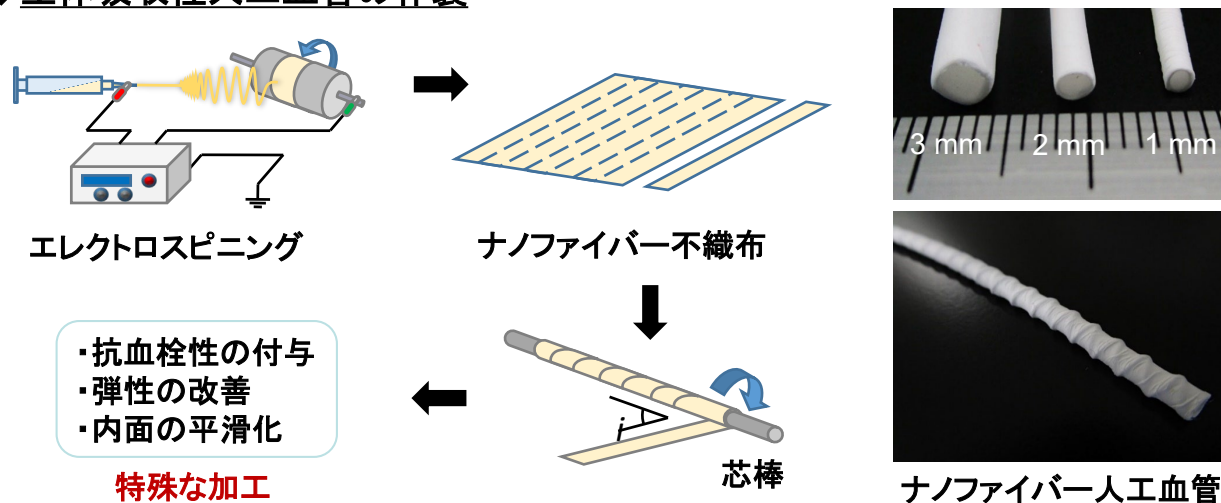
直径4 mm以下の人工血管(グラフト)は、開存性が低いことから実用化に至っていないが、動脈硬化性疾患などにおける需要は高く、その開発が望まれています。本研究では、生体吸収性のナノファイバーを素材として用い、最終的に自家組織化される、内径3 mm以下の小口径代用血管の開発を目指しました。

## <研究内容>

### ◆生体吸収性ナノファイバーで自家血管の再生を



### ◆生体吸収性人工血管の作製



### ◆ラットへの移植実験

